

令和3年5月16日に名古屋で六段に昇段させて頂きました。剣道を始めたきっかけは息子とのコミュニケーションをもちたいとの思いからでした。ちょうどその頃、新宿区の広報に羽柴稔惇先生指導の稽古が記されていたので参加させて頂く事にしました。38歳でした。

その後に岩切梅夫先生指導の剣道教室になり、初めて竹刀をもつ主婦が20名くらい集まりました。指導を受けても剣道への理解が出来ずの毎回の稽古で先生も大変だったと思います。

始めの頃は岩切梅夫先生、岩田定夫先生、柴田鐵雄先生多くの先生方から御指導頂き現在にいたります。

剣道を始めた頃に羽柴稔惇先生より「女性はきれいな剣道をしなさい」との言葉を頂きました。指導を頂いたらすなおに竹刀を振る等、すべてにおいて自分の意識改革だと思っております。左手主導で姿勢正しく、脇を閉めて、肩の力を抜く、簡単そうで難しく今でも課題です。さらに振り下ろしを早くする、それと攻めも難題です。攻めても相手に通じずに自分は攻めてるの思い込みで先生方から沢山の御指導を頂いてもなかなか出来ずにいます。

現在のコロナの中で感染予防対策をするなかでのお稽古に剣連の先生方の御配慮を感謝致しております。そしてさらに緊急事態宣言延長で対人稽古も出来ず名古屋の審査会は中止になるかもしれないと不安は募るばかりでした。

でも辛い時だからこそ今自分の出来る事をするしかないと思いました。素振り、
小手を付けての素振り、すり足、蹲踞、ストレッチ、イメージトレーニング、近
所を歩くなどの毎日を審査までの課題にした三週間でした。合格を頂くまで
時間はかかりましたが途中でやめない、あきらめないで挑戦しづけての結果を
頂いたと思っております。継続は力です。

先生方、午前中のお稽古を共にさせて頂いた皆様に感謝致します。どうぞこれ
からも御指導の程よろしくお願い申し上げます。

令和3年5月27日

安本 しげよ